

令和元年度
事業報告

公益財団法人
黒部市吉田科学館振興協会

令和元年度（2019年度）黒部市吉田科学館事業報告

1. 黒部市吉田科学館の基本方針 ※平成22年黒部市吉田科学館業務計画より

- ・ 楽しみながら自然と科学技術に対する関心と理解を深める場
- ・ 自然の神秘に感動し創造の喜びを知る場
- ・ 広く市民の科学・文化活動の場
- ・ 新しい教育方針に基づく教育補助活動の場
- ・ 市民参画による生涯活動の場

2. 事業コンセプト

「体で学ぶ科学館」をテーマとし、科学館職員が来館者に接することによって科学に基づいた知識を伝える。以下、3テーマについて業務を展開する。

内容	フレーズ	目的
日常の科学	作ってみよう	科学及びモノづくりに対する興味・関心を高める
地域の科学	行ってみよう	地域の自然と文化についての愛着と理解を深める
宇宙の科学	のぞいてみよう	天文学と宇宙技術への興味・関心を高める



3. 令和元年度（2019年度）の主な事業内容

- ・ 夏のオリジナルプラネタリウム番組及び企画展

2019年は、アポロ11号が月面に着陸し、人類が初めて月に降りたってからちょうど50年を迎える年であることから、オリジナルプラネタリウム及び企画展のテーマを「月」とした。

オリジナルプラネタリウムでは、実際に月探検へ出かけているかのような気分になれる体感型のプラネタリウムを目指し、国立天文台のソフト(4次元デジタル宇宙ビューワ「Mitaka」)の画像・動画等を活用しながら制作した。あわせて、企画展示では、巡回展示「月のふしぎ」(企画・製作: 宇宙航空研究開発機構)を開催した。

令和元年度各事業参加者数については以下の通り。

事業	参加者数
日常の科学対象事業	10,054 人
地域の科学対象事業	8,992 人
宇宙の科学対象事業	17,690 人
特別事業	34,344 人
その他事業	7,582 人
延べ利用者数計	78,662 人
カウンター数	30,375 人

(1) 日常の科学

① 講座体験事業

・サイエンスショー（常時開催）



「科学のふしぎ」実演風景

来館者を対象に当館エントランスホールにて、日常生活に関わりの深いテーマを楽しく解説する実験ショーを開催した（平日1回、土日祝日2回、毎回15分程度）。

季節毎にテーマを変えながら開催しており、今年度は、「雪のふしぎ」（4月）、「科学のふしぎ」（5～8月）、「力と運動のふしぎ」（9～12月）、「エネルギーのふしぎ」（1～2月）の、4つのテーマをもとにサイエンスショーを行った。

・第3回 JAL 折り紙ヒコーキ全国大会 黒部予選会（2月22日実施）



イベント終了後の記念写真
（黒部市総合体育センターにて）

例年実施していた「折り紙ヒコーキ工作教室」は、今年度より、JALの特別協賛の下、JAL 折り紙ヒコーキ全国大会の予選会の位置付けとなった。

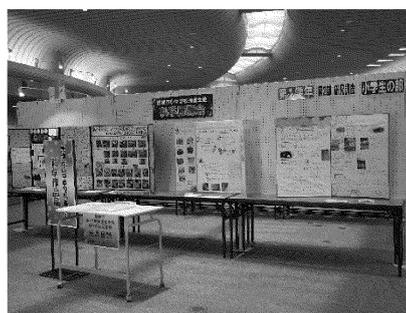
講師は、例年通り折り紙ヒコーキ協会会長の戸田拓夫氏が務めた。折り紙ヒコーキの滞空時間を競う競技会を行い、一般の部、小学生以下の部、それぞれの優勝者は、東京都港区スポーツセンターで開催される全国大会への出場権を得た。また、本イベントでは、戸田氏によるギネス記録挑戦会も併せて行った。

ギネス記録挑戦会では、第1回・第2回 JAL 折り紙ヒコーキ全国大会の優勝者である岡田拓己氏と交互に折り紙ヒコーキを投げ合い、戸田氏が 24.16 秒、岡田氏が 19.50 秒を記録した。今回の記録は戸田氏のギネス記録 29.2 秒には及ばなかったものの、会場からたくさんの声援をいただいた。

② 展示事業

・児童生徒作品展示会の実施

市内小中学校の児童・生徒が、夏休みに制作した発明くふう作品、自由研究作品の展示会を9月から10月にかけて開催した。今年も沢山の優秀な作品が出品された。



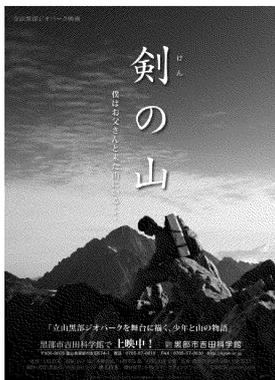
写真左：第14回青少年
発明くふう展

写真右：第14回黒部市小・
中学校児童生徒
科学作品展覧会

(2) 地域の科学

①プラネタリウムドーム事業

- ・立山黒部ジオパーク映画「^{けん}剣の山」



プラネタリウムドーム事業としては、立山黒部ジオパーク映画「剣の山」を毎日上映している。また、前年に続き、市内全小学校の6年生の授業の一環として、「剣の山」の学習投映を実施した。

②講座体験事業

- ・ジオ&みずはくツアーの実施



黒部川扇状地を巡る「ジオ&みずはくツアー」を実施した。本ツアーでは、ボランティアガイドと共に、黒部川扇状地の名所を巡り、参加者に扇状地での水のはたらきや、大地の成り立ち、歴史について触れてもらうことができた。

写真：ジオ&みずはくツアー
「扇状地のダイナミックな水循環」(6月23日実施)

- ・ジオパーク自然教室



立山黒部ジオパークの普及事業の一環として、「ジオパーク自然教室」を実施した。本教室を年5回実施し、生き物、石、雪など、各回で異なるテーマを設定した。生き物や石の観察、水や雪での遊びなどを通して、参加者に黒部の自然に触れてもらうことができた。

写真：ジオパーク自然教室
「夜の昆虫観察をしよう in ふるさとの森」(7月24日実施)

- ・ジオサイエンスショー

5月の大型連休には、「火山のふしぎ」をテーマに、ジオサイエンスショーを実施した。ジオサイエンスショーでは、火山噴火のしくみや、噴火した際の噴出物の挙動を実験でわかりやすく解説した。また、ジオサイエンスショーの最後には、防災教育のため、火山が噴火した際の噴石による被害の恐ろしさがわかるように、参加者に噴石の実物にも触れていただいた。

③調査研究事業

・3Dプリンターを用いた教材開発

3Dプリンターを用いて、展示物やワークショップの材料など、様々な教材を作製している。展示物としては、分割出力によって、90cm×90cmの大型の地形模型を作製した。ワークショップとしては、4月の大型連休に、「小惑星リュウグウをつくろう」と題し、3Dプリンターで出力したリュウグウ模型を基に、リュウグウの石ころ模型を来館者につくっていただく工作教室を実施した。また、村椿小学校の科学工作クラブでは、3Dプリンターを児童に操作してもらう機会を設け、3Dプリンターそのものを教材として活用する試みを行った。

本取り組みを通し、自由に手に取れる模型を作製することができるようになったため、来館者に対し、より多角的に学習機会を提供できるようになった。

・3次元モデリング技術の研究

3次元データをモデリングする技術の研究を行っている。2019年度には、月面の3次元モデルを作成するためのプログラムをPythonで開発した。本プログラムは、月探査衛星「かぐや」レーザ高度計で得られた月の地形モデル(Araki et al.(2009))を基に、月面の全球3次元モデルを作成できるほか、緯度経度を指定し、月面を部分的にモデリングする機能や、地形の凹凸を自由に強調する機能も有する。

月面の地形モデルの利用実績としては、アポロ50周年記念の企画展に併せて、3Dプリンターで月面の模型を作製し展示した。今後は、作成した3次元データについて、VRや全天周映像で利用する方法についても検討する。

(3) 宇宙の科学

①プラネタリウムドーム事業

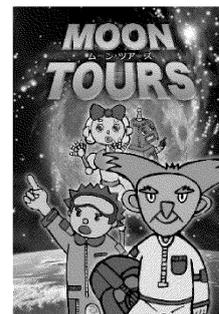
- ・一般投映（平日2本、土日祝日は3～4本の番組を投映）

「ムーン・ツアーズ」（一般・ファミリー層向け番組）
（黒部市吉田科学館オリジナル番組・令和元年度制作）

期間：令和元年7月20日～令和元年11月22日

内容：人類の月面着陸50周年を記念して制作。

月旅行を体験しながら、「月」について分かりやすく解説する番組。
（オリジナル番組30作目）



ムーン・ツアーズ

「モジャコの旅 ～富山湾の不思議な水～」（一般・ファミリー層向け番組）
（黒部市吉田科学館オリジナル番組・平成20年度制作）

期間：令和2年1月25日～令和2年7月17日（※2月29日より休止中）

内容：富山湾に住むモジャコ（ブリの稚魚）、シロエビ、ホタルイカが深層水を求めて冒険する物語。あわせて中国に伝わる星座も紹介した。

「今夜の星空と3D宇宙体験」

期間：通年（※2月29日より休止中）

内容：今夜の星空案内と3Dによる宇宙解説を、光学式プラネタリウム及びデジタル式プラネタリウム（Mitaka）を使って、職員が生解説で投映した。

「プラネタリウム はなかつぱ 花さけ！パッカ～ん 宇宙旅行」（子ども向け番組）

期間：令和元年4月27日～令和2年4月24日（※2月29日より休止中）

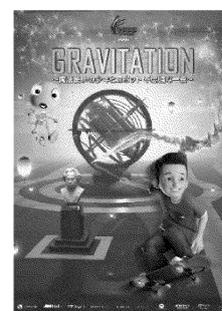
内容：アニメ「はなかつぱ」の登場人物と一緒に、太陽系の惑星への冒険や、星座の物語を楽しむ番組。

「GRAVITATION（グラビテーション）」

～魔法使いの少年とロボット 不思議な一夜～（3D）（一般向け・科学番組）

期間：令和元年11月23日～令和2年10月23日（※2月29日より休止中）

内容：魔法使いの少年が「重力」の謎に迫る物語。当館のプラネタリウムの特色を活かし3Dで臨場感あふれる映像を投映した。



グラビテーション

・学習投映

幼稚園・保育園、小・中学校の理科教育の一環として学習投映を行った。小学4年生の学習投映、中学3年生の学習投映では、学習指導要領に基づいた内容を、職員による生解説で投映した。幼児投映では、夏の星空や七夕に関する物語を分かりやすく解説した。

・オリジナルプラネタリウムフェスティバル

(6月1日～2日)

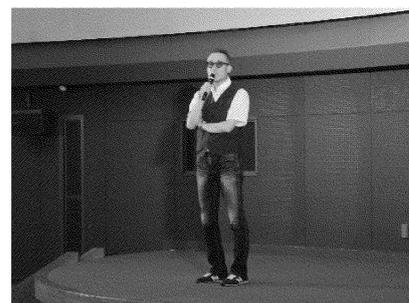
開館 33 周年記念として、当館で過去に制作したオリジナル番組を一挙に無料投映する日を設けた。あわせて観覧した番組数に応じてオリジナルグッズをプレゼントするスタンプラリーを開催した。



オリジナルプラネタリウム
フェスティバル

・プラネタリウムドーム多目的利用

利用者の多様化を目的として、ドームを多目的利用するイベントを実施した。具体的には、大人を対象に音楽やアロマをメインとしたヒーリングプログラム（癒しのプラネタリウム、マタニティプラネタリウム）、プラネタリウム未経験の未就学児向けのプラネタリウム（キッズふらね）、生演奏のコンサート（星と音楽のタベ）、プラネタリウム解説員・田端英樹氏による「爆笑！星兄プラネタリウムショー」を開催した。



爆笑！星兄プラネタリウムショー
(9月22日実施)

②講座体験事業

・プラネタリウム番組制作ソフトを使った小学生向け講座

小学校のクラブ活動にて、プラネタリウム番組制作を行った。ソフトの操作方法を指導し、児童が番組制作に取り組み、最終日にはプラネタリウムドームで発表会を行った（市内2校にて実施）。



小学生向けプラネタリウム番組制作講座

・天文教室の実施

月1回の天文教室のほか、天体望遠鏡の操作を学ぶ教室を実施した。流星群や日食の観察会では、インターネットライブ中継も利用して曇天時にも対応した。

③調査研究事業

・デジタル式投映機を活用したプラネタリウム番組の開発

デジタル式プラネタリウムを使ったオリジナル番組の制作を実施。4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」の映像の活用、全天周カメラとドローンを使って撮影した動画や 3DCG の導入など、番組のクオリティを高めることを目標に、番組制作技術の向上に努めた。



黒部川河口の全天周ドローン映像

(4) 特別事業

①企画展

企画展「月のふしぎ」(期間：6月8日～9月8日)

企画展示では、夏のオリジナルプラネタリウム番組のテーマに合わせ、巡回展示「月のふしぎ」を展示し、月についての基本的な知識や、日本および世界の月探査について紹介した。

企画・製作：宇宙航空研究開発機構 (JAXA)

協力：全国科学館連携協議会



企画展「月のふしぎ」開催風景

企画展「星空ウォーク-遠くをのぞくと昔がわかる!?!」

(期間：7月13日～9月8日)

カシオペア座の5つの星を立体的に配置し、星空の奥行きや宇宙空間の広がりを感じてもらおうことを目的に開催した。

企画・制作：日本科学未来館

協力：国立天文台 TMT 推進室、

全国科学館連携協議会



企画展「星空ウォーク」開催風景

②講演会

(7月21日、2月23日実施)

来館者がジオパークに関するより専門的な学識に触れる機会を設けるため、専門家による講演会を実施した。7月に実施した「蜃気楼研究の最前線」では、これまでに解明された蜃気楼のしくみについて、様々な視点から解説していただいた。2月に実施した「大伴家持の時代には立山の高さは何mだったか?」では、立山の隆起運動について、最新の研究動向をわかりやすく解説していただいた。



特別講演会「蜃気楼研究の最前線」

(7月21日)

共同主催：日本黒部学会

講師：木下 正博氏 (日本蜃気楼協議会 会長)

③オーロラ上映&トークライブ

(11月2日実施)

オーロラ写真家・中垣哲也氏をお招きし、アラスカやカナダにて撮影された美しく幻想的なオーロラと極北の自然について、全天周映像を用いながらお話しいただいた。富山県では見ることが出来ないオーロラの世界をプラネタリウムドームで体感することが出来た。



オーロラ上映&トークライブ

④科学の祭典 (第26回おもしろ科学実験 in 富山 黒部大会)

(8月11日実施)

県内4か所を巡回しながら行なっているイベントで、今年度は当館が会場となり、開催した。県内外の理科教員や理科部等での参加の他、企業や博物館関係者にも参加していただき、科学工作に関するブース出展やサイエンスショーを多数実施した。

特別講演では、国立天文台の^{あがた}秀彦先生に4次元デジタル宇宙ビューワ「Mi taka」を使って講演していただいた。



科学の祭典
(第26回おもしろ科学実験 in 富山)

⑤科学館まつり

(11月23日~24日実施)

平成28年度(2016年度)から開催している「科学館まつり」では、科学館の3つのコンセプトをテーマに、体験講座や講演会、プラネタリウム投影など行っている。

今年度は、日常の科学ではシャボン玉のサイエンスショー、地域の科学では黒部の動物についてのお話、宇宙の科学ではブラックホールに関するお話を、各分野の専門家を招いて実施した。

そのほか、関係施設・団体等の協力を得て、科学に関するワークショップを多数開催した。



シャボン玉のサイエンスショー



ワークショップ開催風景

令和元年度 黒部市吉田科学館 実績報告

日常の科学対象事業 ※自／共…自主事業、共催事業の略

事業名	期間	自/共	内容	平成29年度実績		平成30年度実績		令和元年度実績		前年比
講座体験学習事業	通年	自	親子工作教室	5回	174人	5回	160人	5回	175人	109.4%
	通年	自	工作教室(学校行事等の利用)	4回	93人	9回	382人	10回	294人	77.0%
	2/22	自	第3回JAL折り紙ヒーロー全国大会 黒部予選会	1回	82人	1回	85人	1回	86人	101.2%
	通年	共	黒部少年少女発明クラブ	11回	333人	11回	284人	10回	184人	64.8%
	通年	共	村椿科学工作クラブ	8回	64人	9回	76人	9回	51人	67.1%
	通年	共	あこやへのDE体験の風をおこそう!(あこやへの共催)	3回	1,078人	3回	958人	2回	521人	54.4%
サイエンスショー	通年	自	雪のふしぎ/科学のふしぎ/力と運動のふしぎ/エネルギーのふしぎ	348回	6,024人	277回	5,025人	247回	5,174人	103.0%
展示事業	6/29~7/7	共	魚津地区・理科自由研究・発明くふう参考展	1回	1,515人	1回	1,497人	1回	1,181人	78.9%
	9/13~25	共	第14回黒部市少年少女発明くふう展	1回	1,683人	1回	1,338人	1回	1,486人	111.1%
	9/28~10/8	共	第14回黒部市小中学校児童生徒科学作品展覧会	1回	891人	1回	745人	1回	902人	121.1%
のべ利用者数合計					11,937人		10,550人		10,054人	95.3%

地域の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成29年度実績		平成30年度実績		令和元年度実績		前年比
展示事業	~4/14~3/20~4/12	共	巡回写真展「富山県ナチュラリスト協会写真展」	1回	1,184人	2回	1,975人	2回	686人	34.7%
	4/21~5/12	共	巡回写真展「すばらしき朱鷺・動物写真展」	1回	5,807人	1回	5,356人	1回	4,195人	78.3%
	10/6~27	共	巡回写真展「花鳥風月と立山黒部ジオパーク・水展」	1回	771人	1回	930人	1回	752人	80.9%
	11/1~17	共	巡回写真展「すばらしい自然を」	1回	6,543人	1回	2,574人	1回	1,046人	40.6%
	2/1~3/15	共	巡回写真展「第58回富士フィルムフォトコンテスト」	1回	1,712人	1回	1,793人	1回	1,562人	87.1%
講座体験学習事業	通年	自	ジオパーク自然教室	4回	85人	6回	135人	5回	127人	94.1%
	通年	自	ジオ&みずはくツアー2019	5回	120人	5回	93人	4回	83人	89.2%
	5/4~6	自	ジオサイエンスショー	18回	473人	—	—	6回	324人	—
	7/28	共	黒部川調査隊(黒部川水のコンサート&フェスティバル事業)	1回	57人	1回	19人	1回	18人	94.7%
	6月~8月	共	くろべ水の少年団	7回	240人	7回	208人	7回	199人	95.7%
のべ利用者数合計					16,992人		13,083人		8,992人	68.7%

宇宙の科学対象事業

事業名	期間	自/共	内容	平成29年度実績		平成30年度実績		令和元年度実績		前年比	
プラネタリウムドーム事業	プラネタリウムの投映	自	一般投映および学習投映など(投映日数:239日) (大人:7,348人 高校・大学生:127人 子供:8,151人 合計:15,626人) (孫とおでかけ事業含む)	906回	21,182人	870回	16,005人	760回	15,626人	97.6%	
			◆一般投映	観覧料	2,178,210円	観覧料	1,783,260円	観覧料	1,556,010円	87.3%	
			科学番組	51回	445人	32回	543人	67回	1,285人	236.6%	
			子ども番組	292回	10,301人	239回	6,607人	208回	6,827人	103.3%	
			オリジナル番組	104回	1,455人	116回	1,424人	129回	1,926人	135.3%	
			オリジナル再番組	71回	766人	97回	725人	45回	279人	38.5%	
			職員生解説番組	144回	2,962人	116回	2,609人	103回	1,922人	73.7%	
			立山黒部ジオパーク映画「剣の山」	113回	2,535人	246回	2,865人	167回	1,671人	58.3%	
			ヒーリング番組	102回	1,224人	—	—	—	—	—	
			6/1~2	自	開館33周年オリジナルプラネタリウムフェスティバル	—	—	—	—	12回	351人
	通年	自	◆学習投映(小学4年生)	18回	800人	16回	620人	15回	700人	112.9%	
	通年	自	◆学習投映(中学3年生)	5回	378人	5回	358人	5回	355人	99.2%	
	通年	自	◆幼児投映(幼児)	6回	316人	3回	254人	9回	310人	122.0%	
	プラネタリウムの多目的利用	5/11・10/26	自	マタニティプラネタリウム	2回	63人	2回	86人	2回	100人	116.3%
		5/5~6	自	キッズぷらね	3回	206人	3回	134人	4回	214人	159.7%
6/22		自	星空の下でアロマ自力整体	2回	33人	2回	31人	1回	14人	45.2%	
8/24・2/22		自	癒しのプラネタリウム	5回	201人	2回	107人	2回	72人	67.3%	
9/22		自	爆笑! 星兄プラネタリウムショーin黒部	1回	196人	2回	284人	2回	212人	74.6%	
11/23~24		自	熟睡プラネタリウム	1回	24人	1回	40人	2回	270人	675.0%	
11/30	自	星と音楽の夕べ	1回	77人	1回	190人	1回	75人	39.5%		
講座体験学習事業	天文普及事業	第3土曜日	自	天文教室	15回	455人	13回	489人	12回	851人	174.0%
		8/3	自	初めての天体望遠鏡教室	3回	38人	1回	21人	1回	21人	100.0%
		8/7	共	名水の里くろべこども自然体験村(黒部市)	1回	65人	1回	60人	1回	60人	100.0%
		通年	共	石田小学校天文クラブ	7回	84人	8回	79人	9回	91人	115.2%
		9/29	共	星空トロッコ	2回	108人	1回	36人	1回	49人	136.1%
		11/2	共	灯台まつり	—	—	1回	15人	1回	35人	233.3%
のべ利用者数合計					22,732人		17,577人		17,690人	100.6%	

特別事業など

事業名	期間	自/共	内容	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	前年比
企画展	6/8～9/8	自	企画展「月のふしぎ」			1回 10,453人	
	7/13～9/8	自	企画展「星空ウォークー遠くをのぞくと昔がわかる!？」			1回 7,574人	
展示	4/21～6/7	自	オリジナルプラネタリウム番組ポスター展～平成をふりかえる～			1回 6,745人	
講演会	7/21	自	講演会「蟹気楼研究の最前線～日本蟹気楼協議会の軌跡～」			1回 35人	
	11/2	自	オーロラ上映&トークライブ			2回 209人	
	2/23	共	特別講演会「大伴家持の時代には立山の高さは何mだったか?～測地学と立山隆起～」			1回 42人	
工作	4/27～29	自	GWイベント工作	2回 371人	3回 455人	3回 208人	45.7%
	5/4～6	自	GW 星座早見盤づくり			3回 174人	
	8/12～15	自	お盆イベント工作	1回 276人	1回 153人	4回 355人	232.0%
	12/15	自	クリスマスミニリースづくり	1回 30人	1回 71人	1回 80人	112.7%
	8/11	共	青少年のための科学の祭典 第26回おもしろ科学実験in富山	2回 160人	1回 50人	1回 898人	1796.0%
イベント	5/5	自	GW カブトムシの幼虫プレゼント			1回 184人	
	6/8～6/30	自	オリジナル番組人気投票			1回 1,843人	
	8/1～9/8	自	企画展「月のふしぎ」関連イベントクイズラリー			1回 292人	
	5/3	共	GW JAFイベント			1回 248人	
	5/26	共	施設巡りバスツアー			1回 36人	
	7/25～9/1	共	夏休み!黒部市6館スタンプラリー			1回 126人	
	9/12	共	ジオパーク交流企画(萩ジオパーク)			1回 10人	
	9/21～22	共	くろべフェア(ジオサイエンスショー)			2回 313人	
11/23～24	自	科学館まつり(プラネタリウム以外のイベント)	1回 2,939人	1回 1,757人	2回 4,519人	257.2%	
平成29年度			おもしろ実験と科学工作を楽しむ会(講師:関西電力(株))	1回 58人			
			ロボットセミナー(講師:NPO富山ISO普及支援センター)	1回 22人			
			YKKフェスティバル サイエンスショー	1回 122人			
			企画展「くろべの世界ー!パンダ石のひみつ」	1回 7,134人			
			古生代の化石でペーパーウエイトをつくろう	1回 45人			
			海岸で拾った宝石で冬のオブジェを作ろう!	1回 25人			
			英語でプラネタリウム	1回 19人			
			全国同時七夕講演会2017「銀河鉄道を巡る天の川の旅」	1回 119人			
			富山県天文学会写真展「天体写真の楽しみ」	1回 3,275人			
			金井宇宙飛行士打ち上げライブ中継	1回 32人			
			GWイベントクイズラリー	1回 251人			
		お盆イベントカブラつみたて大会	1回 161人				
		日本プラネタリウム協議会 全国研修会(3日間)	1回 344人				
平成30年度			企画展「火星ってどんな星?」		1回 7,031人		
			展示「もし火星人がいたら?みんなでかいてみよう!」		1回 2,477人		
			立山黒部ジオパーク第11回大地を探るルー講演会「世界の岩なだれとジオパーク」		1回 48人		
			日本黒部学会特別講演会「黒部峡谷」		1回 50人		
			全国同時七夕講演会2018「星空への招待」		1回 133人		
			ミニ講演会「はやぶさ2、只今リュウグウ到着」		1回 52人		
			英語でプラネタリウム		1回 13人		
			闇の封印-プラネタリウムで感じる闇と光の世界-(主催:黒部市美術館)		1回 58人		
			はやぶさ2応援イベント「なぜなに「はやぶさ2」何でも質問教室!」生中継		1回 32人		
			GWイベント天文体験		1回 94人		
		GWイベントクイズラリー		1回 274人			
のべ利用者数合計				15,383人	12,748人	34,344人	269.4%

その他

事業名	期間	自/共	内容	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	前年比
その他			各部署の利用等	8,586人	8,069人	7,582人	94.0%
のべ利用者数合計				8,586人	8,069人	7,582人	94.0%

	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	前年比
日常の科学対象事業	11,937人	10,550人	10,054人	95.3%
地域の科学対象事業	16,992人	13,083人	8,992人	68.7%
宇宙の科学対象事業	22,732人	17,577人	17,690人	100.6%
特別事業	15,383人	12,748人	34,344人	269.4%
その他事業	8,586人	8,069人	7,582人	94.0%
のべ利用者数計	75,630人	62,027人	78,662人	126.8%
カウンター数	37,893人	30,192人	30,375人	100.6%

令和元年度 研修派遣等報告

▼教員研修・インターンシップの受入

中堅教諭等資質向上研修

研修期間	氏名	学校名
7/26～28	教諭 篠崎 智江	にいかわ総合支援学校

▼講師派遣・学会発表・連携協力状況 野寺 凜

月日	内容	主催
5/30	富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コース 黒部の地形と水文化	富山市教育委員会
6/26	新川ジオさんぽ	黒部市立中央公民館
11/16～17	天文教育普及研究会中部支部 2019年度第1回天文教育研究集会 ユニバーサルデザイン観望会	日本天文教育普及研究会 中部支部
11/26	「宇奈月再発見！その魅力を伝えよう」～立山黒部ジオパークについて調べよう～	黒部市立宇奈月中学校
2/23	日本黒部学会 特別講演会および研究例会 3Dプリンターを用いた地学教育	日本黒部学会

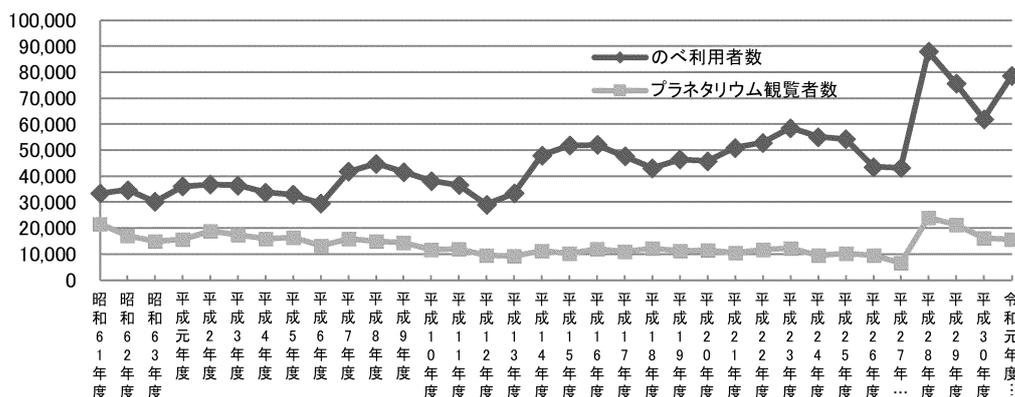
▼執筆 野寺 凜

	内容	発行元
寄稿	歩いて手操る 立山黒部ジオパーク見聞録	立山黒部ジオパーク協会

年度別のべ利用者数・観覧料

令和2年3月31日現在

年度	のべ利用者数	プラネタリウム観覧者数	観覧料
昭和61年度	33,373 人	21,449 人	2,534,760 円
昭和62年度	34,682 人	17,110 人	1,912,660 円
昭和63年度	30,121 人	14,853 人	1,735,050 円
平成元年度	36,053 人	15,582 人	1,736,390 円
平成2年度	36,783 人	18,768 人	1,815,630 円
平成3年度	36,359 人	17,200 人	1,889,240 円
平成4年度	33,644 人	15,868 人	1,777,740 円
平成5年度	32,871 人	16,262 人	1,969,790 円
平成6年度	29,366 人	13,106 人	1,643,780 円
平成7年度	41,719 人	15,700 人	2,828,590 円
平成8年度	44,777 人	14,695 人	2,619,250 円
平成9年度	41,504 人	14,426 人	2,461,120 円
平成10年度	38,144 人	11,554 人	2,008,150 円
平成11年度	36,511 人	11,949 人	1,840,800 円
平成12年度	29,068 人	9,365 人	1,494,100 円
平成13年度	33,355 人	9,264 人	1,380,130 円
平成14年度	47,963 人	11,131 人	1,243,230 円
平成15年度	51,829 人	10,188 人	1,131,060 円
平成16年度	51,968 人	11,780 人	1,308,510 円
平成17年度	47,581 人	10,989 人	1,184,940 円
平成18年度	42,987 人	12,055 人	1,278,840 円
平成19年度	46,363 人	11,021 人	1,161,270 円
平成20年度	45,745 人	11,252 人	1,156,490 円
平成21年度	50,913 人	10,297 人	1,099,110 円
平成22年度	52,937 人	11,515 人	1,275,300 円
平成23年度	58,520 人	12,171 人	1,448,160 円
平成24年度	55,131 人	9,287 人	1,015,470 円
平成25年度	54,252 人	10,081 人	1,075,710 円
平成26年度	43,574 人	9,414 人	1,129,050 円
平成27年度(12月～3月プラネタリウム休止)	43,184 人	6,547 人	695,280 円
平成28年度	88,083 人	23,997 人	1,984,410 円
平成29年度	75,630 人	21,182 人	2,178,210 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
合計	1,565,679 人	461,689 人	55,351,490 円
平成30年度	62,027 人	16,005 人	1,783,260 円
令和元年度(2/29～3/31プラネタリウム休止)	78,662 人	15,626 人	1,556,010 円
前年度比	126.8 %	97.6 %	87.3 %



行政官庁許認可報告事項

許認可報告年月日	許認可報告先	許認可報告事項
令和元年6月29日	富山県知事	平成30年度事業報告及び収支決算届
令和2年3月31日	富山県知事	令和2年度事業計画及び収支予算届

登記事項

登記記録に関する事項(役員の変更登記)

役職・氏名	就任もしくは退任日	登記変更日
理事 田原 建治	令和元年6月25日退任	令和元年6月28日登記
理事 国香 正稔	令和元年6月25日退任	令和元年6月28日登記
理事 阿部 浩司	令和元年6月25日就任	令和元年6月28日登記
理事 中 義文	令和元年6月25日就任	令和元年6月28日登記

理事会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和元年5月29日	1 平成30年度事業報告及び収支決算について 2 令和元年第1回評議員会の開催について	役員(理事9名、監事2名)の内 理事8名出席、監事2名出席 議案について全員一致で承認
令和2年3月27日	1 令和元年度収支補正予算(第1号)について 2 令和2年度事業計画及び収支予算について	役員(理事9名、監事2名)の内 理事8名出席、監事1名出席 議案について全員一致で承認

評議員会議決事項

開催年月日	議決事項	備考
令和元年6月25日	1 平成30年度事業報告及び収支決算について 2 公益財団法人黒部市吉田科学館振興協会 理事の選任について	評議員3名全員が出席 議案について全員一致で承認